

## 国際理解教育～地球市民の一員としてできることを考える～

		佐々木 りえ 富谷町立富谷中学校 教諭／美術	
教科	総合的な学習の時間および道徳 (5時間)	対象	1年生 男41名 女40名 計81名

### I 実践の目的

交通手段の発達や情報化が進む中で、経済、社会、文化等の様々な面で国際交流が進展し、国際的な相互依存関係はますます深まっている。また、地球環境問題、エネルギー問題、人口問題、難民問題など地球規模の問題が深刻化し、これらの問題の解決に当たっては、国際的な協調が不可欠となっている。こうした状況を踏まえ、教育の分野においても、地球環境問題への対応や、科学技術や文化の面などで、今後一層積極的に国際社会に対して貢献し、世界の安定と発展に寄与していく資質や能力を養うことが求められている。教育基本法第2条第5号及び学校教育法第21条第3号においても、「他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」とする目標が示されている。よって、世界に生きる一人という自覚をもたせ、国際社会の平和と発展に寄与する心情もたせることが重要だといえる。国と国とが支え合うことの大切さや、ボランティアの人々の活躍を伝えることで、生徒の進路選択の幅を広げ、よりよい生き方を求める意識を高めることを目的とし、授業実践を行った。また、中央教育審議会 第一次答申「21世紀をした我が国の教育の在り方について」(平成8年7月)の第3部第2章では、国際化と教育について「国際化が進展する中であって、広い視野とともに、異文化に対する理解や、異なる文化を持つ人々と共に協調して生きていく態度などを育成することは、子供たちにとって極めて重要なことである。」と示されている。国際協力は他国の文化の良さを見出し、違いを認め、相互に理解することを基本として成り立つことから、異文化の一例としてパラグアイを題材に取り上げ、他国のよさや面白さを感じ取ることを通して、異文化理解を深める授業実践を行った。さらに、同審議会では国際理解教育を進めるにあたり「個の確立」の推進も示されている。生徒たちに自国の歴史や伝統文化などについての理解を深める指導を取り入れながら、授業展開を工夫した。

### II 授業の構成

授業実践を通して、以下のような手立てを講ずれば、異文化理解と国際協力の心を備え、社会の発展と人々の幸福に貢献する生き方を目指す生徒の育成が図られると考えた。

- (1) 他国の文化の例として、パラグアイの文化を幅広く紹介し、よさや面白さを発見する授業を通して異文化理解を深めさせる。
- (2) 発展途上国の現状や、世界が相互に支え合い成り立っていることを理解させ、国際協力の在り方について考えを深めさせる。
- (3) 人々の幸福と社会の発展のために生きるボランティアの方々の生き方や思いを紹介し、自己

の生き方の変容と進路選択の視野を広げる。

- (4) パラグアイにおける日系人の活躍や、移民政策と開拓の歴史を紹介し、日系社会を通して自国の歴史や伝統文化についての理解を深め、共生社会について考えさせる。
- (5) 地球市民という考え方を推進し、国際支援の在り方を理解させ、発展途上国の抱える問題を解決するために考え行動しようとする心を育む指導を工夫する。

時間	主な活動内容	ねらい
1 時間目 (7月)	パラグアイの人々に贈るために、自分の好きな言葉を書いた和柄のしおりを作る。	パラグアイの人々に贈る和柄のしおり作りを通して、世界とつながることに興味・関心をもたせる。
2 時間目 (11月10日)	パラグアイの伝統工芸品「ニヤンドゥティ」の鑑賞をする。地位、文化、言語、衣食住について知り、他国の文化のよさや面白さを発見する。	パラグアイの伝統工芸品や風土、言語、衣食住について知り、異文化理解を深めさせる。
3 時間目 (11月11日)	①第二次世界大戦前後の移住政策と開拓の歴史について知る。 ②日系社会、日本語学校から自国の文化を捉え直し「日本の心」を考える。	①パラグアイにおける日系人の活躍や移民政策と開拓の歴史を紹介し、日系社会を通して自国の歴史や伝統文化についての理解を深め、共生社会について考えさせる。 ②日本の文化の価値を再認識する。
4 時間目 (11月18日)	発展途上国の現状とボランティアの人々の活躍を知り、国際協力の在り方を考える。	国際協力について理解を深め、人々の幸福と社会の発展に貢献する生き方に関心をもたせる。
5 時間目 (11月20日)	地球市民の考え方を知り、その一員として発展途上国の子どもたちのために何ができるか考える。	国際支援の在り方、支援の多様性について理解を深め、自分たちにできることを考える。

### Ⅲ 授業の詳細

#### 1 時間目

〈準備物〉ペン、折り紙、厚紙、カッター、のり、リボン、穴あけパンチ、辞典、ラミネート用紙

段階	活動内容	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
導入	1. 本時のめあてを確認する		○教師海外研修でパラグアイに行くことを伝える。
	めあて：パラグアイの人々に贈る和柄のしおりを作ろう。		
展開	2. パラグアイの位置を確認 3. しおりに書く日本語を決める	一斉 ・個	◆パラグアイは日本のほぼ反対の南米の中心にあることを伝える。


段階	活動内容	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
	4. しおりを作成する  写真1 「一期一会」と書かれたしおり		○自分の好きな言葉から、パラグアイの人々に伝えたい言葉を選ぶ。 ◆厚紙と和柄の折り紙を使ってしおりを作成させる。 ○机間指導をして制作の支援をする。 ○教師海外研修でパラグアイの学校を訪れた際に、日本の学校の紹介と、このしおりを渡すことを伝え、他国とのつながりの意識をもたせる。 □他国に伝える言葉を主体的に考え、興味・関心をもって制作に取り組んでいるか。
終結	5. 片付け		



写真2 完成したしおり



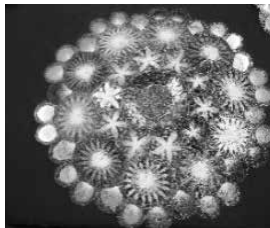

写真3 贈る時の様子



写真4 贈る時の様子

2 時間目

〈準備物〉PC, スクリーン, ワークシート1, ニヤンドゥティ, マテ茶, アオポイ

段階	活動内容*生徒の反応	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
導入	1. 学習全体の流れを把握する 2. 本時のめあてを確認する  めあて：他国の文化を知り、よさや面白さを発見しよう。	一斉	◆パワーポイントで授業全体の流れを説明する
展開	3. 班編成をする ・1班5～6人計15班に分かれる。 4. パラグアイの伝統工芸品ニヤンドゥティを鑑賞する ・自分の班の作品を鑑賞した後、他の班の作品も見て回る。 ・感じたことをワークシートに記入し発表する。 *編み方が細かくて模様が綺麗。	班・個	◆班ごとに丸くなり、中心に置かれた実物のニヤンドゥティを鑑賞させる。  写真5 ニヤンドゥティ  写真6 鑑賞の様子 ○他の班に置かれたニヤンドゥティも、歩き回り自由に鑑賞させるようにする。

段階	活動内容*生徒の反応	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
	<p>* どうやって作っているのだろう。 ・ 模様の形を想像し，班ごと話し合いワークシートに記入する。 ・ 見えた模様を発表する。</p> <p>* 花，蝶，太陽，風車，扇風機，孔雀，蜘蛛の巣など</p>	班	<p>◆ ワークシートに感じたことを記入後，発表させる。</p> <p>□ 他国の伝統工芸品に興味・関心をもち主体的に自分の感じたことをまとめているか。</p> <p>○ 自由に発言する雰囲気づくりを行う。</p> <p>◆ ワークシートに鑑賞したニヤンドゥティの模様を記入後，発表させる。</p> <p>○ 模様をひとつひとつ確認し意見の共有を図る。</p>
	5. パラグアイの風土，地位，文化，言語，衣食住について知る	一斉	<p>◆ パワーポイントでパラグアイの地位，風土，文化，言語，衣食住について説明する。(図1, 2 写真7~10)</p> <p>○ 伝統衣装アオポイ(写真7)は実物を提示する。</p> <p>○ テレレ文化(写真9)紹介はマテ茶を実際に試飲さる。</p>
	6. グアラニー語のニヤンドゥティという言葉の意味を予想する ・ 班ごとに話し合い，友達の予想も記入後，発表する。	班	<p>◆ グアラニー語でニヤンドゥティの意味を予想させ，友達の予想と比較させた後，発表させる。</p> <p>○ ニヤンドゥティは蜘蛛の巣という意味だと説明する。</p>
	7. ニヤンドゥティについてさらに詳しく知る ・ 縫い方の動画や写真を見て制作方法や様々な工夫を知る。 * 伝統が失われるのはさみしい。	一斉	<p>◆ ニヤンドゥティの縫い方の動画を見せる。</p> <p>○ 制作に時間がかかり，生計を立てるには困難などの問題があることから，作り手が減っていると説明する。</p> <p>○ 伝統工芸を継承することの大切さや難しさを考えさせる。</p> <p>○ 日本の伝統工芸も同じ課題があることを考えさせる。</p>
終結	8. 本時の感想をワークシートに記入後，発表する		<p>◆ ワークシートに感想を記入する。</p> <p>○ 他者の感じ取ったことを認めたり，自分の感じ取り方と比較したりしながら発表を聞かせる。</p>



〈使用した図・資料・写真の一部抜粋〉



図1 パラグアイの場所確認



図2 パラグアイの基礎知識



写真7 伝統衣装



写真8 首都アスンシオン



写真9 テレレ文化の様子

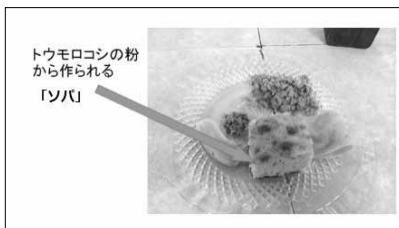
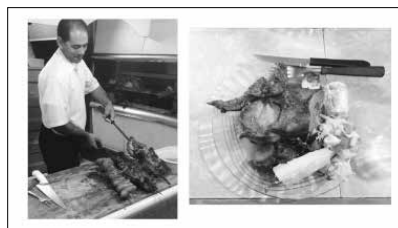


写真10 食文化



国際理解教育 学習プリントNo.1 月 日 ( )

**パラグアイ文化を知る**

— 自然とのつながりから生まれた郷土 —

名氏 \_\_\_\_\_

初めて、パラグアイ文化のよさや面白さを発見しよう。  
食文化のつながりから生まれ育つ誇りを伝えている伝統工芸のよさや楽しさを感じよう。

1. パラグアイの伝統工芸品「ニャンドゥッチ」を鑑賞し、驚いたことや感じたことを書こう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

2. 模様を見て、絵の中に見えるか想像し、線で結ぶのを、見えた形を書き写そう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

3. ニャンドゥッチとはアララニー語でどのような意味の言葉だろうか。多分してみよう。

・自分の予想 \_\_\_\_\_

・絵の友だちの予想 \_\_\_\_\_

・実際の意味 \_\_\_\_\_

4. 授業の感想を書こう。

\_\_\_\_\_



\_\_\_\_\_



資料1 (ワークシート)

3 時間目

〈準備物〉 PC, パワーポイント, スクリーン, ワークシート2, 筆記用具

段階	活動内容*生徒の反応	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
導入	<p>1. パラグアイの学校について知る (写真11)</p> <p>*生徒が教科書を持っていない学校が多い。</p> <p>*給食が無い学校があるから、半日しか学校に行かないのか。</p> <p>2. 日本とパラグアイのつながりについて考える</p> <p>*なぜ日本人を温かく迎え入れてくれるのだろう。</p> <p>3. 本時のめあてを確認する</p>	一斉	<p>◆パワーポイントでパラグアイの学校の様子を説明する。</p> <p>○日本の学校との違いや、本時で知るパラグアイの日本語学校との違いや共通点に気付かせていく。</p> <p>○都市と地方とでは学校設備に差が見られる。</p> <p>○教科書を持っているのは教師のみ。</p> <p>○給食が無く、午前と午後の二部制の学校が多い。</p> <p>○学校に行かない時間は家の手伝いなどをしていく。</p>

段階	活動内容*生徒の反応	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
			<p>○現地でとても温かな歓迎を受けたことを伝える。また、それは日本人のパラグアイの移住の歴史と関わりがあることを伝える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>写真11 パラグアイの小学校 写真12 歓迎の様子</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて：日系社会について学び、日本の文化を見つめ直そう。</div>			
展開	<p>4. イグアス移住地と日系社会の把握 (写真13)</p> <p>5. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問1：当時の日本人々はなぜ海外へ移住したのだろう。</span> ・考えをワークシートに記入し、発表する。</p> <p>6. 実際の移住者の声を聞き移住の理由の一例を知る</p> <p>7. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">問2：あなたの家族(班)は日本から海外へ移住をしますか。</span> ・家族の役割を決め、移住するかしないか話し合いワークシートに記入する。</p> <p>8. 各家族の考えを発表する (図3)</p>	<p>一斉</p> <p>個</p> <p>一斉</p> <p>班</p>	<p>◆パワーポイントでイグアス移住地の場所と様子を説明する。</p> <p>○パラグアイの日系社会の経緯について説明する。</p> <p>◆ワークシートに自分の考えを記入させる。</p> <p>○当時の人々はどのような気持ちで移住を決意したか想像させる。</p> <p>○ワークシートに記入したことを発表させる。</p> <p>◆日本人移住者の園田さんの話を動画で紹介する。</p> <p>○戦争による貧困のため仕事を求めてパラグアイに移住したことを理解させる。</p> <p>○移住政策を政府が掲げていたことも説明する。</p> <p>◆ロールプレイで班ごとに家族になって役割を決め、移住するか、日本に残るかを話し合わせワークシートに記入する。</p> <p>○当時の日本人の心情になって考えながら、自国の戦前戦後の移住政策について理解を深めさせる。</p> <p>○自分の班の考えを発表させる。</p> <p>○各班の考えを自分の班の考えと比較しながら聞く。</p>

段階	活動内容*生徒の反応	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
	<p>9. パラグアイ移住者の開拓の様子を知る・イグアス日本「匠」センター(移住資料館)の写真を元に当時のパラグアイの開拓の歴史と変容を知る。</p> <p>*開拓する上でどのような苦労があったのだろう。</p> <p>*移住して大変だったことは何だろう。</p> <p>*移住した日本人は現在どうしているのだろう。</p>	一斉	<p>◆パワーポイントでイグアス日本「匠」センター(移住資料館)の写真を見せる。</p>  <p>写真14 移住資料館 写真</p> <p>○最初は密林だった場所を日系人とパラグアイ人が協力し、開拓し農地に変えていったことを説明する。</p> <p>○人生を切り開いていく生き方の苦労ややりがいを理解させる。</p>
	<p>10. 日本語学校の様子を知る(写真15, 16)</p> <p>*ラジオ体操で一日が始まる。</p> <p>*ルールや決まりの掲示物がある。</p> <p>*日本の学校と同じように掃除している</p>	一斉	<p>◆パワーポイントで日本語学校の写真を見せながら説明する。</p>  <p>写真15 日本語学校の様子</p>
	<p>11. 「日本の心」とは何か考えワークシートに記入する。(図4)</p>	個	<p>○日本から遠く離れても日系人が大切にしている「日本の心」について考えさせる。</p> <p>□日本に生きる人々が大切にしてきた心はどのようなことかを考え、自分の言葉でまとめているか。</p>
終結	<p>12. 本時の感想をワークシートに記入し、発表する</p>	一斉	<p>◆ワークシートに本時の感想を記入させ、発表させる。自分の感じ取り方と比較しながら発表を聞かせる。</p>





4 時間目

〈準備物〉 PC, パワーポイント, スクリーン, 資料, 筆記用具

段階	学習活動 *生徒の反応	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
導入	<p>1. 前時までの学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住するか, 日本に残るかのロールプレイの結果 (図3) と「日本の心」についてみんなの考えを知る。(図4)</li> </ul> <p>2. 資料「パラグアイ農業に日系人の姿あり」を読む (資料5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラグアイの日系人が大豆の栽培に成功し, 世界でも上位の生産と輸出を行っていることを知る。</li> </ul> <p>3. 東日本大震災時にパラグアイの日系移住者とパラグアイ国民からの寄付で大豆100t (豆腐100万丁) の支援を受けたことを知る (写真18 資料5)</p> <p>4. 本時のめあてを確認する</p>	一斉	<p>◆前時の振り返りをする。</p> <p>○他国の文化を認めることと同様に自国の良さをしっかりと認識し大切に続けることも大事だと伝える。</p> <p>◆互いに協力し合い, 真面目に働く日本人移住者たちが, 現地の人に好意をもって受け入れられたことを伝える。</p> <p>○イグアス移住区で始まった大豆の不耕起栽培はパラグアイ全土に広まり, 現在では世界第4位の輸出量であることを伝える。</p> <p>◆パラグアイの日系農家が生産した大豆100t とパラグアイ全土からの寄付を受け, 豆腐100万丁を日本で生産し, 被災地に贈る運動があったことを伝え「国際協力」について考えさせる。</p>
<p>めあて：発展途上国と国際協力について学ぼう。</p>			
展開	<p>5. 発展途上国について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・途上国の分布と定義を知る。</li> <li>・図「小田家の1日ごはん編」から日本と発展途上国との関係を知る。</li> </ul> <p>*他国で生産された物を輸入して, 現在の豊かな食生活がある。</p> <p>*自国の生産品だけで生活を成り立たせるのは難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展途上国の問題を, クイズ形式で捉える。</li> </ul>	一斉	<p>◆発展途上国についてパワーポイントを使って説明をする。</p> <p>○発展途上国の定義はそれぞれの機関で異なることを理解させる。</p> <p>○資料「小田家の1日のごはん編」では発展途上国を「かわいそうな国」や「支援を要する国」として捉えるだけで終わらず, 日本も発展途上国で生産された物を輸入して豊かな生活を送ることが出来ていることを理解させる。</p> <p>○東日本大震災の際は, 日本も世界から様々な支援を受けたことを踏まえ, 世界は助け合いで成り立っていることへの理解を深めさせる。</p>

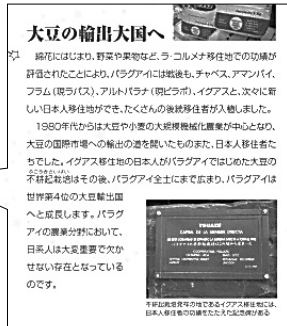


写真18 支援を受けた豆腐

段階	学習活動 *生徒の反応	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
	<p>* 5才まで生きられない子がそんなにいるなんてかわいそう。</p> <p>* どうしてこんな状況があるだろう。</p> <p>* 解決策はないのか。</p> <p>6. 発展途上国としてパラグアイの課題を知る</p> <p>* 日本では当たり前のことが発展途上国や世界から見るとそうではないのか。</p> <p>7. 国際協力の体制を知る</p> <p>・ JICA について理解する</p> <div data-bbox="268 907 699 1227" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>国際協力の取り組み</b></p> </div> <p style="text-align: center;"><b>図5 国際協力の取り組み体制</b></p> <p>8. JICA のボランティアの方々の活動を知る (写真19)</p> <p>①眞喜志直子さん (教育)</p> <p>②大澤みずほさん (医療)</p> <p>③小川正子専門家 (医療・保健)</p> <p>④遠藤久美子さん (教育)</p> <p>・ ボランティア志望動機などを知る (図6)</p>		<p>○発問で発展途上国の特に深刻な問題について捉えさせる。</p> <p>Q1, 1日1ドル以下で生活する人の数は? → A, 11億人</p> <p>Q2, 学校に通うことの出来ない子どもは世界中にどのくらいいるでしょう? → A, 1億3000万人</p> <p>Q3, もっとも貧しい国々で5才までに死んでしまう子どもの数は, 1000人のうち何人? → A, 164人</p> <p>◆パラグアイの抱える主な課題をパワーポイントで説明する。</p> <div data-bbox="869 676 1353 952" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>発展途上国・パラグアイの抱える主な課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済…経済の中心が第一次産業(農業等)であるため天候の影響を受けやすく経済が不安定。貧富の差が激しい。</li> <li>・交通…信号機の不足。免許制度の改善。交通ルールの改善。</li> <li>・教育…教科書無償配布ではない。学校、教員の補充。全日制の教育体制と給食制度の導入。</li> <li>・医療…医療従事者の質の改善。救急医療体制の整備。母子保健において定期検診などの普及。</li> <li>・環境…ごみの散乱の改善。排水浄化設備の導入。</li> </ul> </div> <p>◆国際協力の取り組みの体制と, JICA についてパワーポイントで説明する。</p> <div data-bbox="869 1070 1353 1339" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>国際協力機構 JICA(ジャイカ) とは?</b> Japan International Cooperation Agency</p> <p>日本政府による発展途上国への支援を実施する機関。1974年に設立。</p> <p>道路の整備、井戸や学校などの建設資金の提供、発展途上国の人材育成などを行っている。</p> <p>農業や医療や教育などの専門知識を持つ人や、青年海外協力隊を発展途上国に派遣する。(JVC, JOCV)</p> </div> <p>◆写真でボランティアの方々の活動を紹介する。</p> <p>○具体的にその国の人のために, どのような活動をしているのか理解を深めさせる。</p> <p>◆ボランティアの工夫や活動にかける思いなどを紹介する。</p> <p>◆現在アフリカで青年海外協力隊として活動する遠藤久美子さんから, 頂いたメッセージを紹介する。</p> <p>□人々を幸せにするボランティアの活動に興味・関心をもって話を聞いているか。また, ワークシートに自分の言葉で感じたことをまとめているか。</p>

段階	学習活動 *生徒の反応	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
終結	9. 本時の感想をワークシートに記入し発表する	一斉 ・個	◆本時の感想を記入する。 ○他者の感じ取ったことを認めたり、自分の感じ方と比較したりしながら発表を聞かせる。

〈使用した図・資料・写真の一部抜粋〉



資料3 JICA 横浜国際センター海外移住資料館『海外移住資料館だより2006AUTUMN 資料探検隊! 第5回 パラグアイ農業に日系人の姿あり! ~パラグアイの食卓を豊かにした~』P4, P5 (2006年)

昨年3月11日、日本を襲った東日本大震災の被害に心を痛め、真っ先に被災地支援に立ち上がったのも海外にいる日系人でした。全国各地の日系人は震災の翌日にはすぐに募金などの支援活動に着手し、支援の輪は、移住先各国の人々にも大きく広がり、大使館や赤十字を通じて多額の義援金が被災地に送られました。  
また、パラグアイのイグアス農協が、日系農家の生産した大豆100トンを寄付し、パラグアイの全移住地とパラグアイ国民からの寄付で、豆腐を日本で生産し、被災地に100万丁の豆腐を送る運動が今も続けられています。「祖国が苦況に陥った時、支援できるレベルまで来たことに誇りを感じます」とイグアス日本人会の福井一朝会長は語っています。

**さまざまな開発途上国の問題**

Q1. 1日1ドル以下で生活する人の数は?

Q2. 学校に通うことのできない子どもは、世界中にどのくらいいるのでしょうか?

Q3. もっとも貧しい国々で毎年死んでしまう子供の数は、1,000人のうち何人?

**この国は**

開発途上国の分布図

日本のグループは「開発途上国」と呼ばれる国々なんだよ。開発途上国に暮らす人々の数は、世界の全人口(約66億人)の約1割以上と置かれているんだ。

そんなに多いの? 開発途上国って、どんな国に多いのかな?

資料4 JICA 資料「Find the Link どうなってるの? 世界と日本」



写真19 JICA のボランティア隊員および専門家

<p><b>大変なことは？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活全般(停電・断水・限られた食材)</li> <li>・英語や現地語がなかなか通じないこと</li> <li>・お金をくれと言われることがある</li> </ul> <p><b>志望動機</b></p> <p>中学校の時、修学旅行でJICA事務所を訪れたことがきっかけで海外ボランティアに興味をもつようになった。英語が好きだった。</p> <p>理科の先生になりたいと思ったのは学生のころ理科が苦手だった時に先生方に助けられたから。青年海外協力隊に応募したのは、実際に美しい地域の子供をこの目で見て現状を知りたかったから。</p>	<p><b>現地で活動してみて感じること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験をしたくても材料が足りなくて難しい。</li> <li>・学習に対する意欲や先生の授業をする姿勢が日本とは異なる。</li> <li>・あまり手伝い過ぎるとボランティアに頼り切りになってしまうので、どこまで手伝っていいか難しい。</li> <li>・2年間という活動期間の中で自分に出来ることは限られているが、新しい人、環境との出会いや刺激は、私にとっても、帰国したあとの子供たちにとっても良いことだと思います。</li> </ul> <p><b>中学生のみなさんへ、ひとつこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今学校に来て快適な環境で勉強ができるのとても貴重なことだと思います。家族や支えてくれている人に感謝しよう。</li> </ul>
--	---

図6 アフリカのJOCV 遠藤久美子さんから頂いたメッセージ

5 時間目

〈準備物〉PC, パワーポイント, スクリーン, 資料, ペン, 感想用紙, 筆記用具

段階	学習活動 *生徒の反応	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
導入	<p>1. シミュレーション「世界がもし100人の村だったら (図7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性別, 年齢, 地域, 栄養状態, 言語, あいさつの言葉, 識字についての質問をもとに, 地球全体の様々な人々の割合を把握する。</li> </ul> <p>2. 本時のめあてを確認する</p>	一斉	<p>◆「世界がもし100人の村だったら」シミュレーションを行い, 世界を縮小した規模で様々な人の割合を捉えさせる。</p> <p>○あらかじめ1人に1枚ずつ役割カードを配布しておく。</p> <p>○当てはまる生徒を起立させる。</p>
<p>めあて：地球市民の一員として、発展途上国の子どもたちを助ける支援を考えよう。</p>			
展開	<p>3. 地球市民の定義を知る</p> <p>4. 班に分かれて資料を読み, 発展途上国の子どもたちがどんなことに困っているのか知る。(資料7, 8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*発展途上国の子どもたちは, 安全な水が得られない。</li> <li>*栄養不足で病気になりやすい。</li> <li>*様々な理由で学校に行けない。</li> </ul> <p>5. 学校に行けないと, どのようなことに困るか考えてみよう」を前時の学習をもとに班で話し合い記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*字が読めないので仕事が限られ収入が得られない。</li> <li>*薬や注意書きなどが読めないのので, 安全に関する知識が得られない。</li> </ul>	一斉 班	<p>◆地球市民の定義を伝える。</p> <p>○地球市民とは, 人種, 国籍, 思想, 歴史, 文化, 宗教などの「違いをのりこえ, 誰もがその背景によらず, 人として尊重される社会の実現」を目指し, 活動する人々のことをいう。</p> <p>◆資料から発展途上国の抱える問題について「子どもたちが困っていること」を捉えさせる。</p>



資料5 発展途上国の子どもたちが困っていること



資料6 学校に行けない理由



段階	学習活動 *生徒の反応	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
	<p>6. 子どもたちを助ける支援を班で話し合い考え、カードに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1枚のカードに1つ支援を記入し、9枚作成する。</li> <li>*募金する。</li> <li>*学校の数を増やす。</li> <li>*安全な水が飲めるように技術を伝える。</li> <li>*医者を派遣する。</li> </ul> <p>7. 支援が書かれた9枚のカードを、大事だと思う順に並べ、ダイヤモンドランキングをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大事だと思う理由を考えながら並べる。</li> <li>*1番大事なのは子どもたちの病気を治す薬を送るなど命に関わることだと思う。</li> <li>*根本的に社会の構造を発展させるため学校を作ることが大事だと思う。</li> </ul> <p>8. 代表の班が発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の内容の説明と、ランキングの理由を説明する。</li> <li>・発表を聞く側は、自分たちの考えた支援の内容と比較しながら聞く。</li> </ul> <p>9. 持続的支援と一時的支援について知りもう一度ランキングを並べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*募金は使えば消えてしまうので一時的なもの。</li> <li>*病院や学校を作っても働く人がいなかったら一時的支援になってしまう。</li> </ul> <p>10. 代表の班のダイヤモンドランキングを教師が紹介する。</p>	<p>班</p> <p>一斉</p> <p>班</p> <p>一斉</p>	<p>◆前時で学習したボランティア隊員の例を出して説明をする。</p> <p>○生徒の考えを引き出し記入させるが、どうしても9つ浮かばない班には教師が用意したヒントを配布する。</p> <p>◆ダイヤモンドランキングを写真に撮りスクリーンに映しながら発表することを説明する。</p> <div data-bbox="842 645 1104 936" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="1136 622 1412 967" data-label="Image"> </div> <p>写真20 ダイヤモンドランキング</p> <p>□興味・関心をもって支援の内容を考え活動に参加しているか。</p> <p>○発表したい班に挙手をさせる。また、巡視してよく考えている班に対して指名を行う。</p> <p>○支援の内容の共有を図る。</p> <p>◆持続的支援と一時的支援について説明し、もう一度ランキングを並び替える。</p> <p>○一時的支援は募金、支援物資など、困っている人をすぐに助けることができ、緊急を要する際に重要であることを伝える。</p> <p>◆持続的支援は技術提供や教育など支援者がいなくなった後も残るような支援であり、問題を根本的に解決する上で重要であることを伝える。</p> <div data-bbox="976 1706 1284 2004" data-label="Diagram"> </div>

段階	学習活動 *生徒の反応	形態	◆教師の指導 ○留意点 □評価
	<p>* 農業の技術を伝えることと、教師の育成を上位にもってきた。</p> <p>* 物やお金だけではなく、技術や学力の指導も支援だということが分かった。</p> <p>* 場合にに応じた支援の在り方を考えいくことが必要だ。</p>		<p>○ ボランティアの多様性を捉えさせる。</p> <p>○ 持続的支援と一時的支援はどちらかが優れているのではなく、それぞれに良さがあることに気付かせる。</p>
終結	10. 国際理解教育の授業全体を通しての感想を記入し発表する。	一斉	<p>◆ ワークシートに全体の感想を記入後発表させる。</p> <p>□ 授業の感想を自分の言葉でワークシートにまとめているか。</p> <p>○ 全体の授業のまとめを行う。</p>

〈使用した図・資料・写真の一部抜粋〉

**役割カードの見方**

本カードは、「第1部 ワorkshop編」の「2. シミュレーション」で使用するものです。

- 参加者の人数に合わせて、通し番号順にカードを増減することができます。但し、参加者が12人以下の場合には、主要言語を網羅できない、比率が不正確になる、などの理由で、使うことができませんのでご了承下さい。  
→ 参加人数が少ない場合は、こんな工夫もできます  
・ 紙で作った人形などを人に見立てて、世界地図の上に置いていく。  
・ その場にあるモノを利用して、人に見立てて動かしていく。
- カードは50番まであります。参加者が51人以上の場合には、さらにNo.1から順に足して増やしていくことができます(100人の場合には、同じカードを2セット使用します)。

＜例＞・参加者24名の場合は、No.1～No.24のカードを使用  
・参加者70名の場合は、No.1～No.50までの1セットに加え、No.1～No.20を1枚ずつ使用

所得の分配「所得が多いのは誰？」  
(P20～23)

①性別「男性と女性、どっちが多い？」(P12) → 1. 性別: 女

②年齢「世界は今、高齢化? 若年化？」(P13) → 2. 年齢: 大人

③日本の場合の年齢  
「世界は今、高齢化? 若年化？」(P13) → 3. 日本の場合の年齢: 大人

④地域と発展状況「大陸ごとに分かれてみよう！」  
(P14～15) → 4. 地域: アジア

⑤言語「世界の言葉で『こんにちは』」(P16～17) → 5. 言語: 中国語

⑥あいさつの言葉「世界の言葉で『こんにちは』」  
(P16～17) → 6. あいさつの言葉: ニーハオ

⑦識字「文字が読めないということ」(P18～19) → 7. あなたは文字の読めません

No.2 役割カード ☆

- 性別: 女
- 年齢: 大人
- 日本の場合の年齢: 大人
- 地域: アジア
- 言語: 中国語
- あいさつの言葉: ニーハオ
- ワットボス (バスノス)

このカードは「読ってください」という意味です。これを見せられたらその通りにしてください。このことは他の人には言わないでください。

No.3 役割カード ♥

- 性別: 男
- 年齢: 大人
- 日本の場合の年齢: 大人
- 地域: アジア
- 言語: ロシア語
- あいさつの言葉: スドゥラーストヴィチエ
- ワットボス (バスノス)

このカードは「読ってください」という意味です。これを見せられたらその通りにしてください。このことは他の人には言わないでください。



図8 100人村シミュレーション



写真21 授業の様子



写真22 授業の様子

#### IV 実践の成果

〈授業後の生徒の感想〉

- ・他国には色々な伝統工芸品や文化があることが分かりました。景色や工芸品を見ることができてとても楽しかったです。
- ・パラグアイのことは何も知らなかったけど、文化や食事や衣服が日本とは全く違い、興味が湧いてきました。外国に行ってみたいという気持ちになりました。
- ・パラグアイの農業に日系人がとても貢献していてすごいと思った。震災が起きた時にパラグアイ人や日系の人々が助けてくれて、日本とパラグアイはお互いに支え合っていると思いました。
- ・5歳まで生きられずに死んでしまうなんて早過ぎるのかわいそうだと思います。世界には学校に行きたくても行けない人もいて、今私たちが授業を受けることができるのも貴重なことだと思い、もっとまじめに普段の授業を頑張っって受けようと思いました。
- ・改めて世界の現状を知って悲しい気持ちになりました。私は食べ物の好き嫌いなどをしたり、水を出しっぱなしにしたりしていてもなんとも思わなかったけど、苦しんでいる人たちのことを考えたら申し訳ないと思いました。大変な人々を助けようとするボランティアの人はすごいと思いました。
- ・外国の人のために頑張っている日本人が多いことを知りました。もっと世界全体が豊かになるよう募金をしたり物を大事にしたりするなどを心がけていきたいと思いました。

他国の文化を知ることで日本との違いを考えることができ、おもしろくて学ぶこと多い授業でした。今回はパラグアイについてでしたが、その他の国ことも知りたいなと思いました。

パラグアイの文化などが学べてよかったです。発展途上国がかかえるいろいろな問題や課題などそれと自分たちができる支援などいろいろな事を考えることができよかったです。

日本とパラグアイでは、テレビで見るとは、とてもきれいで、安定している所だと思っていたけど、写真を見たとはい想像とはちがいました。学校では教科書が古い状態、勉強していて、とても不便だといっていました。パラグアイで、日本人が、いろいろ物をあげるのには、喜んで、教えてあげているのが、とても、すごいと思いました。

違う国に住んでいる人が、学校に行けなったり、しょうぶんに栄養を取れず、苦しんでいる人が、いることが、すごく分かりました。私は、日本に生まれてとても良かったです。パラグアイの人達に、幸せになってもらえるように、募金などをしたりして、パラグアイの発展に取り組みたいです。

#### 4. 本時の授業の感想を書こう。

自分たちが「あたりまえ」のように生活している事が、他の国のたくさんの子どもたちには、あたりまえにできなし、日本と大分異なることを、更に理解しました。今、私たちがしていることが、たくさんの人に支えられてできていることだと、改めて気づいたので、これから、一つ一つを大切に行動し、将来支えられる何かを、一つでもしたいと思いました。

各授業後の感想と、5時間全体を通しての生徒の感想から、国際理解の授業実践を通して、以下のような手立てに応じた成果が得られたといえる。

- (1) 他国の文化を知ることは面白い。「もっと見たい。」という気持ちを高めるため、2時間目の実践授業の中で、パラグアイの伝統工芸品「ニヤンドゥティ」に焦点を当てて鑑賞を行った。現地で入手した本物の教材を用いて授業を行い、鑑賞では夢中で色や模様から良さや美しさを感じ取っている様子が見られ、生徒の興味・関心を高め、異文化理解につながる導入ができた。日本とは異なる衣食住や環境、文化などにも驚きの反応を示し、活発に質問をしていた。実際にその国の写真を見たり、マテ茶のテレレ文化を体験したりすることで、他国の文化のよさや面白さを、体験を通して感じさせることができた。
- (2) 実践授業3時間目の感想から、異国の地で努力を続ける生き方や、勤勉さと協調性で現地の人に受け入れられ、共生社会を築いたことを知ることができたと分かる。また、ロールプレイを通して当時の歴史的背景や心情に迫りながら移住の歴史と共生社会について知ることができたと捉えることができる。
- (3) 実践授業を終えた生徒の感想から、自分たちの生活はあらゆる国や人々に支えられて成り立っていることへの理解を深めさせることができたといえる。実践授業3、4時間目の感想では、「私は以前から外国に行ってみたく、そこで働きたいと考えていましたがその気持ちが強くなりました。」という声が上がった。また「誰かの人ために頑張っている人の生き方を知り、自分も夢の実現に向けてもっと勉強しようと思いました。」「もっと世界全体が豊かになるよう募金をしたり物を大事にしたりするなどを心がけていきたいと思いました。」という生徒の感想から、実践授業を通して国際協力への興味・関心の高まりと自己の変容が認められた。
- (4) 5時間目の実践授業を通して発展途上国の子どもたちを助ける支援を考えることができたといえる。また、ダイヤモンドランキングを通して支援の多様性を知り、持続的支援や一時的支援の特徴を考え、学びを深めることができた。



V 課題

- ・生徒の感想の中に、「発展途上国の人たちはかわいそうだと思った。自分達は日本に生まれて恵まれていると思った。」という言葉があった。貧困や学校に行けない子どもたちに対して、どこか遠い国の出来事として客観視したまま完結してしまった生徒もいることが分かった。今後も話を続け、自分も世界に生きる一人として、身近なところからでも何かできることは無いかという心構えを築かせていくことが課題である。
- ・5時間目において、発展途上国の子どもたちに対する支援の内容を考える時間と、ランキング付け、さらには支援の多様性を理解させるなど、内容を詰め込み過ぎたことが要因で、持続的支援と一時的支援の特徴を知るだけで終わってしまった。理解を深めるために、それぞれの良さを考えさせ、その国の人々のニーズに応じて支援策を考えていくことの重要性をより深く捉えさせていかなければならないと考える。
- ・支援カードのランキングは、授業後に写真としてしか残すことができなかったので、次回の実践の機会があれば、形として留めておく工夫を取り入れたい。模造紙などに貼り掲示をして共有を図れればと考える。
- ・考えて終わりではなく、実際に行動に繋げていく手立てを考える。例えば、架空募金や、現地に物資を送るなど、国際交流や支援の情報の収集と考案を行っていきたい。

関連する学習指導要領の内容と文言

中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編

第2章 総合的な学習の時間の目標 第1節目目標の構成 第1目標

横断的・総合的な学習や探求的な学習を通して、自らの課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 第1節指導計画の作成に当たっての配慮事項

- (5) 学習については、学校の実態に応じて、例えば国際理解、情報、環境、福祉・健康などの横断的・総合的な課題についての学習活動、生徒の興味・関心に基づく課題についての学習活動、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動、職業や自己の将来に関する学習活動などを行うこと。

中学校学習指導要領解説 道徳編

価値項目4 - (10) 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献する。

## ●出典・参考図書

- ・ JICA 横浜国際センター海外移住資料館『海外移住資料館だより2006AUTUMN 資料探検隊！第5回 パラグアイ農業に日系人の姿あり！～パラグアイの食卓を豊かにした～』（2006年）P4, 5
- ・ JICA 資料「Find the Link どうなってるの？世界と日本」（2013年9月）より一部抜粋
- ・ DEAR 開発教育協会「ワークショップ版世界がもし100人の村だったら」（2003年3月25日）
- ・ JICA 資料「学校に行きたい 国際協力とわたしたち」（改訂第二版2009年12月）